

### 第3回名張市介護保険推進協議会 議事録

日 時 令和2年6月3日(水)

午後1時30分から

場 所 名張市役所 1階 大会議室

#### 出席者(所属機関)

会長 白澤政和(国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究所)

副会長 東明彦(名賀医師会)

小林庄藏(名張市老人クラブ連合会)

富森盛史(人権擁護委員)

粉川香織(社会福祉法人名張厚生協会)

橋本由佳(三重県介護支援専門員協会伊賀支部)

梅崎享子(名張市民生委員児童委員協議会連合会)

杉本丈夫(社会福祉法人名張市社会福祉協議会)

森本良樹(地域づくり代表者会議)

平井吾一(伊賀歯科医師会)

徳山六大(名賀保険薬局会)

福田千恵子(隠おたがいさん事務局)

#### 事務局

名張市 福祉子ども部長 森嶋和宏

地域包括支援センター センター長 中野雅夫、係長 上田紀子、係長 柴垣維乃

介護・高齢支援室 室長 栗原ひかる、係長 金森陽子、主任 中野美咲

#### 1. 開会のあいさつ(名張市福祉子ども部長)

この度の新型コロナウイルス感染症の感染拡大という未曾有の事態の収束が見通せない中、また皆様方大変お忙しい中、本日の介護保険推進協議会にご出席いただき誠にありがとうございます。また日頃から名張市の介護保険事業の円滑な運営をはじめ、福祉行政にそれぞれの立場でご尽力を賜っておりますことに感謝を申し上げます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、社会活動や経済活動が停止し個人や事業者の収入減少、雇い止め、失業といったことが起こっております。それにより、高齢者の方、障害者の方、子どもをお持ちの世帯の方、多くの方が生活に困られるという状況にもなっております。この介護保険事業におきましてもそうした方々に対して介護保険料の支払猶予といった措置や減免措置といった対応も現在とらせていただいているところです。さて、本日、皆様方にご協議をいただくわけですが、この介護保険制度も2000年4月にスタートしてちょうど20年を経過したわけがございます。そうした中で、名張市においても現在第7期の計画に基づいた事業取組にご協議をいただくわけですが、本日は取組の報告をさせていただくとともに、皆様からご意見等賜りたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

## 2. 事務局より報告

(事務局)

委員の交代についてご報告いたします。5月に地域づくり代表者会議の男山倫夫委員が退任され、後任として森本良樹委員が就任されました。

(森本委員)

今回から委員として出席させていただきます川西・梅が丘地域づくり組織委員会の森本でございます。どうぞよろしくお願いたします。

## 3. 会長あいさつ

新型コロナウイルス感染症で大変な状況の中今日はお集まりいただきましてありがとうございます。特に医療・介護事業者の皆様方におかれては大変緊張した状況であると思いますが、今日はそういう状況の中ですが、どうぞよろしくお願いたします。

## 4. 議事

(会長)

本日は、審議事項3点がありますが、1つ目の介護保険事業の実施状況について、事務局からご説明をお願いします。

### (1) 介護保険事業の実施状況について

事務局より資料説明

(会長)

第7期の介護保険事業計画の進捗状況ということで9ページでは、この3年の事業計画期間で給付費が215億円と見込んでいましたが、24億円の余剰の見込みであるという報告がひとつ、もうひとつは老人保健施設が1つ閉鎖して、グループホームは計画より少し少ないといった報告でございますが、何かご質問はいかがでしょうか。

老人保健施設が閉鎖しますが、前回の事業計画では老人保健施設の48床分を入れて策定しているが、次回の計画では老人保健施設の扱いをどのように事務局では考えているのか。

(事務局)

資料1の6ページをご覧ください。介護老人保健施設の月平均の受給人数を記載しております。平成30年度実績が月平均で179人、令和元年度は月平均で170人ということです。入退所等もございますので満床になる時点でいかがか、というところはあるかと思いますが、老人保健施設については近隣市町村の施設もご利用が可能という中で、180床以内で現在ご利用いただいているということで、現行の推計では老人保健施設についてはある一定、充足できているのではないかと現時点では判断しております。今後の施設サービス整備に当たってどう考えていくかというのは次回の会議でもご提案申し上げたいところではございますが、もう少し今後の実績データ等も踏まえて検討はしていくべきところかと思っているところでございます。

(会長)

前回の計画で一定数の施設入所者数というのを推計して決めたわけですね。現実には老人保健施設が閉鎖して利用率も低かった。そうすると、前回の基準、例えば高齢者人口の何パーセントが施設入所するかといったような基準というのは変わるのか。施設整備数については積み上げていくということはあるが、他の自治体でも減るというのはあまりないので、このようなときにどう整理していくのかというのは事務局としても考えておいていただきたい。

他にいかがでしょうか。順調には行っているということですので、それでは議題2に入らせていただきます。「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」及び「在宅介護実態調査の実施状況」について、事務局よりご説明をお願いします。

## (2)「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」及び「在宅介護実態調査の実施状況」について

事務局より資料説明

(会長)

ありがとうございました。何かご質問はございますでしょうか。1つは介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、もう1つは在宅介護実態調査の実施状況ということです。

介護予防の事業で日常生活圏域ごとに分類していますが、前回の計画策定時に地域によって取組に格差があるという話がありました。今でも格差はあるのか、格差は少なくなってきた、どこの地域も活発にやっているのか。介護予防は地域づくりとも関係していて、例えば農村部と新興住宅地では随分違うようなイメージが4～5年前はありましたが、そのあたりどうなっているのか、森本委員か福田委員にもぜひ伺いたい。

(森本委員)

名張市全域の把握はしておりませんが、川西・梅が丘地域だけを見ましても、団地部と農村部では年齢構成も違いますし、どちらかというとな農村部の方が高齢になっても現役で働いている方が一定数おられます。そのあたりで介護予防事業の対象となってくる方も若干違うのではとも思いますが、1つの地域だけでも農村部と差があるものと思っております。

(会長)

地域活動についてもやはり農村部と新興住宅地では違うというイメージですか。

(森本委員)

そうですね。農村部でグラウンドゴルフなどをされている方もいますが、最近になって増えてきたというのが見受けられてきたというような感じはします。

(福田委員)

15地域のうち10地域で地域ささえあい事業をやっています。その中でも名張地域の隠おたがいさんでは生活支援というのを一番させていただいておりまして、資料4の6ページで在宅生活の継続のために充実が必要なサービスとして多く挙げられている移送サービス、外出同行（通院、買い物など）というのはさせていただいておりますし、他にもここに選択肢として挙げられているものは隠おたがいさんとしてお手伝いさせてもらっています。

(会長)

現在は日常生活圏域ごとに調査をしているので、農村部も新興住宅地も一緒になっていますが、そこは少し仕分けをして調査すると鮮明に課題が見えてくるのではないかと思います。

(事務局)

介護予防に関して、団地部と農村部との取組の差というのは確かにございまして、会長がおっしゃったように、今後の計画策定の際にはそのあたりの実態も踏まえた策定を検討していかななくてはいけないと思っています。介護予防、健康づくりの担い手に関する取組もさせていただいていますが、取り組み方についても差があって、一律な形での展開というのはなかなか難しいと思っています。

(会長)

そうすると、分析は日常生活圏域で分けるだけではなく、もう少し細かくするか、農村部と新興住宅地とを整理した、こういう差があるということを意識した分析をやっていただくといいのではないかと思います。他にいかがでしょうか。

(東委員)

資料3の52ページから57ページの運動器のリスク、閉じこもりのリスク、転倒のリスクのグラフを見ますと、どのグラフを見ても75歳まではあまり問題は起こらないが、75歳以降で問題が起こってきています。75歳位から重点的に見ていかないといけません。現在の調査では年齢階級は85歳以上で切られています。高齢化も進んでいるしもう少し後ろの年代も詳しく調べるよう視点を変えていかないといけません。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。東委員がおっしゃったように、75歳からどのグラフも急増していますので、これからの課題ということで、次回の調査では85歳以上をもう少し細かい年齢構成で拾っていかないかということを引き継いで次回に繋げていきたい。また先程、農村部と都市部の違いがいかにか、というご意見をいただきましたが、昨年度に農福連携ということで厚生労働省が名張市産業部、福祉子ども部と調査をしていただいた統計がございまして。結果的には残念ながら障害をお持ちの方に関しては農福連携が有効だという資料は出たのですが、介護給付の実績からは農村部の方が農作業に従事することで介護予防に繋がっているという数値的なものは統計からは見てとることができなかったということでご報告をいただいています。試み的な実施ということで調査していただいたところではございまして、農村部と都市部での対比を見ていくのかということも今後の課題として受け止めさせていただきたいと思っております。以上でございます。

(会長)

他にいかがですか。何かご質問、ご意見はありますか。よろしいですか。それでは議題2はこれで終わりまして、議題3に入りたいと思いますが、次期計画策定に係る開催日程について、事務局からご説明をお願いします。

### (3) 次期計画策定に係る開催日程について

事務局より資料説明

(会長)

日程ですが、今年度は計画策定年度ですので回数が多いですがどうぞよろしくお願いいたします。他に事務局から何かありますでしょうか。

## 5. その他

○介護保険をとりまく状況

○基本指針について

○高額介護サービス費、補足給付の概要

事務局より説明

(会長)

ありがとうございます。他に何か事務局からございませんでしょうか。

(事務局)

この場をお借りして大変恐縮ですが、地域包括支援センター運営協議会の委員を兼務されている方におかれましては、昨年度の実績の報告を席にお配りさせていただいて、書面での報告に代えさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(会長)

書面での報告ということでよろしいでしょうか。他に何かございませんか。

(事務局)

事務局からは以上です。長時間どうもありがとうございました。

(会長)

それでは、これで推進協議会を終わらせていただきます。ありがとうございました。

(事務局)

ありがとうございました。以上をもちまして、第3回名張市介護保険推進協議会を終わらせていただきます。次回は7月6日を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。